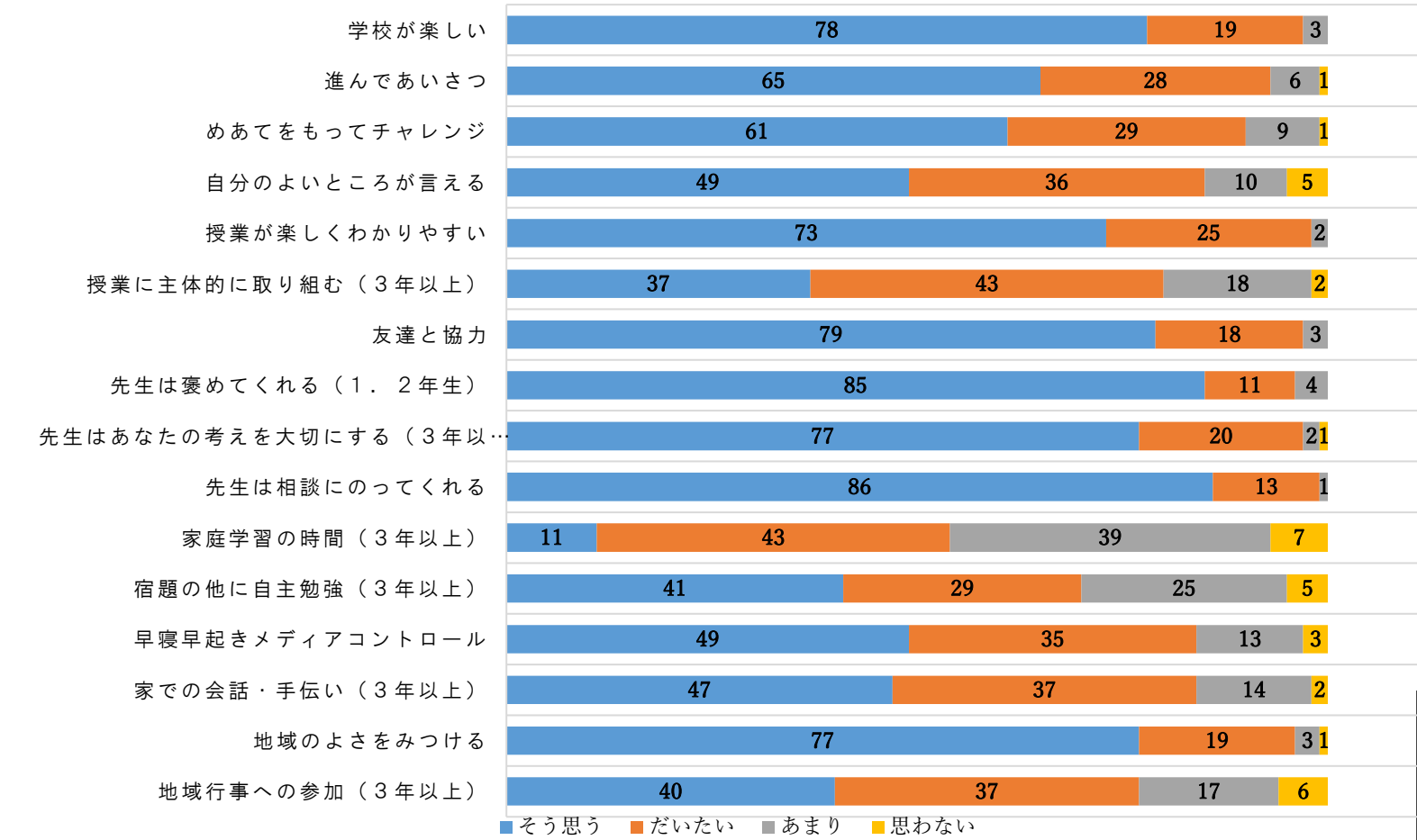


令和5年度学校評価の結果について

貴重なご意見ありがとうございました。これからも安心・安全な学校づくりに努めてまいります。家庭・地域・学校がひとつになり子ども達の学びを支えていきましょう。今後ともご支援よろしく申し上げます。

令和5年度学校評価（児童）



4：2時間以上 3：1時間以上 2：30分以上 1：30分未満

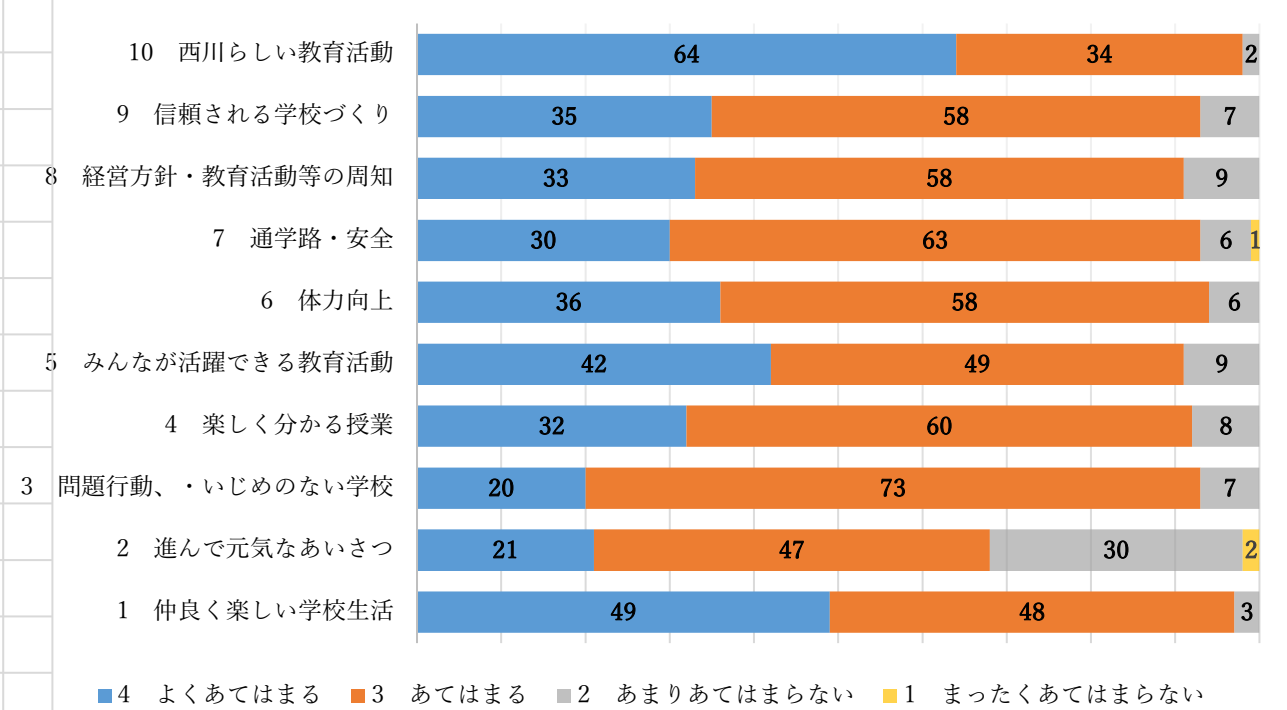
【考察】

- 「学校が楽しい」「授業が分かりやすく楽しい」「先生はよいところを褒めてくれる」「先生は、困ったときに相談に乗ってくれる」が高評価でした。このことから、おおむね温かな学級経営、学校づくりができていると考えられます。しかし「学校が楽しい」「授業が分かりやすく楽しい」の評価を1と答えた児童もおります。一人一人の思いに寄り添い、大切にできる学校を目指していきます。
- 家庭学習時間は昨年に引き続き低い評価になっています。3年生以上で1時間学習しているのは54%で半数の児童が1時間に満たない学習時間になっています。タブレットを活用した家庭学習などで基礎基本を身に付ける内容を検討し、併せて自主勉強の取組みを推進していきたいと考えています。放課後のバスを待つ時間も自主的に学習できる場としていきます。
- 「自分から進んであいさつできている」「地域行事に進んで参加したりボランティアに取り組んだりしている」の評価は、昨年よりも大きく改善しました。コロナが5類となり、参加できる場面も多くなりましたが、学校目標「ふるさとを誇りに」を具現化するために、ふるさと楽行や、地域人材の活用等で、地域のよさを知り進んでかわってきました。そのため、地域の活動へ参加したいという気持ちや、地域のためにできることをしたいという気持ちが高まってきたのではないかと考えております。

【ふるさと楽行校長・学校運営協議会委員より（抜粋）】

- 子供たちが小さな発見ですごく感動しているのを見るとうれしくなる。ふるさと楽行が開催された地区で、良かったと思った気持ちを忘れないで欲しい。この行事がずっと続くと良いと思います。
- 小学校のHPをもっと見てもらえるように工夫したらいいと思いました。子供たちの笑顔や素敵な写真がたくさんあってとてもいいHPだと思いました。
- 様々な場面で子供たちの笑顔を見ることができました。引き続き、支える大人の考えと、子供たち目線の楽しさをうまく融合させながら進めたら良いと思います。

令和5年度学校評価（保護者）



【自由記述より】

- △あいさつされてから返すのではなく、自然にあいさつできればもっと良いと思う。
- △地区によりますが、高学年の児童があいさつをしないので、低学年の児童もそれでよいと思ってあいさつをしてくれないことがあります。
- △（通学路の安全確保）については地域の方との連携が見えてきていない、薄い印象がある。
- △オクレンジャーを使った行事、延期の連絡を、もっと早い時間にできないでしょうか。中止だけでなく、開催の場合も連絡がほしい。
- ・西川町のことにに関して親より詳しく、大好きな様でなによりです。学校、授業等楽しいと話してくれるし、学校へ行くのを嫌がったりしていないので安心して通わせています。
- ・ふるさと楽行の取組みは地域のことをより深く知ることができ、おもしろい取組みだと思います。
- ・来年も今年度と同じように暑くなるので、行事の対応や登下校の対応など今年同様お願いしたい。
- ・今のまま、子供が行きたくなる学校でいてください。

【分析及び対応策】

- ほとんどの項目で90%以上があてはまると回答し、高評価でした。低い項目は「元気なあいさつ」でした。（2）「元気なあいさつ」は、あてはまるが68%と低い傾向にあります。学校だけでなく家庭でのあいさつの習慣化など、今年始まったPTAあいさつ運動などを更に推進し、学校・家庭・地域が一緒に取り組んでいけるようにしていきたいと考えます。ご協力お願いします。（4）「わかる授業」は92%で、昨年よりも大きく改善しました。学校研究を通して授業改善に取り組んだことや、地域のみなさんと学ぶ学習がより学習効果を上げていると考えられます。今後更に目標に近づくために、学力向上を目指して学校としてできることを職員一丸となって取り組んでいきます。（7）通学路の安全確保については、毎年育成会や町当局、警察や安協のご協力のもと、要望にしていねいに対応していただいております。今後とも保護者の皆様や各方面の皆様のご意見をいただきながら、安全安心な通学環境になるように努めていきたいと思っています。（8）今年度からオクレンジャーでの連絡を進めてきました。移行期でもあるので、紙媒体での連絡を希望する声もありますが、オクレンジャーでの配信を求める声もあります。西川町はDX化を進めていますので、学校もDX化推進のために、オクレンジャーの有効活用を進めていく予定です。皆様にもご協力をお願いするとともに、出欠のWeb回答など、便利に活用できるように改善していきたいと考えています。